

シーズ名	伝統工芸の技術を活かしたデザイン	分類：14
所属 / 職 / 氏名	教育学部 / 教授 / 田中 隆充	
キーワード	デザイン、伝統工芸	

どんな技術？

一言アピール

各地域の伝統的な職人の工芸技術を活かしつつ、  
現代のライフスタイルに合ったデザインが提供できます

【産学連携共同研究の事例】

例えば、下記のデザインは岩手県奥州市の伝統工芸の一つである岩谷堂箆笥の伝統技術を用いた、室内空間の‘角’に設置するための箆笥である。

一般的な箆笥の収納能力と同じでありながら、二方向から収納物を引き出せることが大きな特長である。最大限の収納能力にするため、引出し同士の角を完全に接することを試みた。これは、伝統を引き継いだ、木工技術がなければ出来えないデザイン、設計をとりいれています。



何に使えるの？

従来のユーザー層だけではなく、新しいユーザーや現在のライフスタイルの調和した製品への展開として使える。

関連特許

関連資料等

『デザイン学研究作品集』12号、日本デザイン学会、2007、112-115頁  
読売新聞（岩手版）2006年2月12日、岩手日報2006年2月19日  
河北新聞2006年2月20日、朝日新聞（岩手版）2006年4月5日